

医療機関別2011年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	冠動脈バイパス手術(人)	心臓カテーテル治療(人)	心臓弁膜症手術(人)	胸腹部大動脈瘤手術(人)	先天性心疾患(人)
名古屋第一赤十字	124	383	137	76	6
名古屋第二赤十字	73	484	115	51	53
名古屋徳洲会総合	72	386	90	72	2
名古屋大	67	186	76	76	10
社会保険中京	31	345	21	15	162
藤田保健衛生大	54	416	46	64	5
安城更生	62	484	66	33	7
名古屋ハートセ	27	696	102	31	0
名古屋市立東部	18	247	65	33	3
小牧市民	41	343	58	18	3
あいち小児保健医療総合セ	0	0	-	0	102
名古屋市大	0	326	0	0	100
岡崎市民	31	368	31	20	0
豊田厚生	37	308	21	12	0
刈谷豊田総合	25	256	21	25	4
春日井市民	17	355	27	8	1
名古屋共立	26	290	24	4	0
総合大雄会	17	175	12	11	3
一宮西	19	387	12	7	1
国・豊橋	18	193	14	6	0
公立陶生	19	438	12	8	0
中部労災	17	370	18	2	1
豊橋市民	1	184	0	1	3
豊川市民	0	282	0	0	0
一宮市立市民	-	625	-	-	-
藤田保健衛生大坂文種報徳会	-	108	-	-	-
岐阜県総合	35	535	42	15	109
岐阜ハートセ	29	1004	59	28	3
岐阜大	9	381	22	36	5
岐阜県立多治見	12	377	26	18	0
岐阜市民	16	311	15	9	0
大垣市民	-	867	-	-	-
長良	-	71	-	-	-
三重大	24	222	36	62	66
市立四日市	49	511	71	28	0
伊勢赤十字	47	248	59	28	0
岐阜県立総合	36	129	23	12	0
国・三重中央	18	120	20	7	0
四日市社会保険	-	96	-	-	-

※「国・」は独立行政法人国立病院機構。「セ」はセンター。「一」は無回答または不明。冠動脈バイパス手術の治療数には、ほかの心臓病手術との同時手術は含まない。

相談ください。

当センターは、アテローム血栓症克服のための良きアドバイザーであります。まずは、お気軽にご相談ください。

病院の実力

～岐阜編 59

今日は心臓を取り上げる。一覧表には、2011年に実施された手術・治療の数を掲載した。

「冠動脈バイパス手術」と「心臓カテーテル治療」が行われるのは、心筋梗塞や狭窄症。心臓に酸素や栄養を供給する冠動脈が、動脈硬化により狭くなったり詰まつたりする病気だ。

心臓病

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は2013年1月6日「皮膚の病気」の予定です。

手術や、弁を縫い合わせて形を切り取って人工弁を入れる手術や、弁を縫い合わせて形を切り取って人工弁を入れる

が正常に働く。心臓弁膜症は、血液の逆流を防ぐ心臓弁管を広げる。「心臓弁膜症」

もの付け根の血管からカテーテル(細い管)を挿入し、狭窄した部分にステント(金網状の筒)を置くなどして血管を広げる。「心臓弁膜症」

「胸部大動脈瘤」は、心臓近くの大動脈(心臓から出る血管)が加齢などによってコブ状に膨らむ。その部分を切り取って

人工血管に置き換える手術と、カテーテルを使ってステントグラフトという筒状の医

療器具を挿入する治療があ

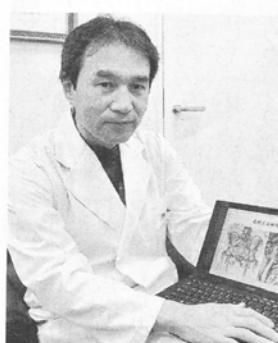
る。破裂する危険性が高い場合もあれば、大人になって行

う場合もある。

生まれた時から心臓内の壁に穴が開くなどの異常がみられるのが、「先天性心疾患」だ。生後間もなく手術する場合、心臓内に通る血管の壁が開くなどの異常がみられるのが、「先天性心疾患」だ。生後間もなく手術する場合、心臓内に通る血管の壁が開くなどの異常がみら

岐阜ハートセンター(岐阜市)院長 上野勝己さん 55

当センターでは、虚血性心臓病、心臓弁膜症、心不全、不整脈、大動脈疾患だけではなく、全身の動脈が狭くなる「アテローム血栓症」の治療と予防に努めています。心筋梗塞



や狭心症の患者の25%に、脳血管障害や足の末梢動脈疾患を合併するとのデータがあ

血栓症治療と予防に力

増えていることも踏まえ、CT検査やカテーテル検査・治療の際、腎臓に負担になる造影剤の使用量を最小限にするよう注意を払っています。

一方で、予防には患者側の努力も大切です。高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙習慣、家族歴のある場合はアテローム血栓症を発症する可能性が高いので、食事に注意して、できるだけ体を動かす習慣をつけましょう。当センターでは、栄養や運動の教室、心臓リハビリテーションなどを通じ、生活習慣の改善をサポートしています。

死因の70%、末梢動脈疾患の死因の75%が心筋梗塞という報告もあります。心臓病の治療にあたり、合併するアテローム血栓症のサインを見逃してはならないのです。

アテローム血栓症が疑われる場合、心臓だけではなく、全身を一度にコンピューター断層撮影(CT)で調べます。